

平成 25 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



小林 敏子（こばやし としこ）

社会福祉法人平成福祉会特別養護老人ホーム平成新高苑

1936 年 10 月 8 日生まれ

【授賞理由】

小林氏が永年にわたり取り組まれた認知症の人と家族への支援は、介護保険制度の確立以前という困難な状況の下で試みられ、今日では当たり前のように語られるケアの連携を構築した。また、この思いに基づく実践家の育成はまさにわが国における認知症ケアの伴走者たる行為であった。

【略歴】

1963 年 3 月	京都大学医学部卒業
1964 年 4 月～1976 年 9 月	西山病院
1976 年 9 月～1997 年 3 月	大阪市立弘済院付属病院
1997 年 4 月～2002 年 3 月	関西福祉大学
2002 年 4 月～2005 年 3 月	大阪人間科学大学
2005 年 4 月～	特別養護老人ホーム新高苑
2011 年 6 月～	特別養護老人ホーム育徳園

【褒賞】

医学研究学術賞（1990）

【業績および活動内容】

1976 年より勤務した大阪市立弘済附属病院では、長期間にわたり多くの認知症の人の経過にふれた。また、大阪大学精神医学教室の西村健教授の指導のもと、NM スケールや N 式精神機能検査の作成にかかわった。バウムテストやその他の心理テストをとおして、正常加齢や病的加齢に伴う心理状態の変化をみつめ、認知症の人の生きている世界についても考察した。

病院での診療活動と併せて、家族の会や保健所での認知症ケア相談を、社会的支援がほとんどなかった介護保険実施以前に実施し、認知症の人や家族の方々と共に歩んできた。

今もなお認知症ケアが質・量ともに充実し、介護の現場における課題を解決すべく介護職員の増加や待遇の改善のために尽力している。

【主な著書・論文】

- 1) 小林敏子：バウムテストにみる加齢の研究；生理的加齢とアルツハイマー型痴呆にみられる樹木画の変化の検討.精神神経学会誌,92（1）；22-58（1990）.
- 2) 小林敏子，播口之朗，西村 健，ほか：行動観察による痴呆患者の精神状態評価尺度（NM スケール）および日常生活動作能力評価尺度（N-ADL）の作成. 臨床精神医学, 17；1653-1668（1988）.
- 3) リサ・グアイザー（小林敏子監訳）：アルツハイマー病介護マニュアル. 日本評論社，東京（1993）.
- 4) 小林敏子：高齢者介護と心理. 朱鷺書房，大阪（2000）.
- 5) 小林敏子，橋本篤孝：痴呆介護の手引. ワールドプランニング，東京（2003）.
- 6) Liduin Souren, Emile Franssen（西村健監訳，小林敏子，小谷順一郎，竹腰恵治，ほか訳）：アルツハイマー病；患者の世界. じほう，東京（2005）.
- 7) 小林敏子，福永知子：認知症の人の心理と対応. ワールドプランニング，東京（2009）
- 8) 小林敏子：N 式老年者用精神状態尺度（NM スケール）開発当時の認知症ケア事情と介護保険発足後の変化. 認知症ケア事例ジャーナル. 5（3）；333-338（2012）.